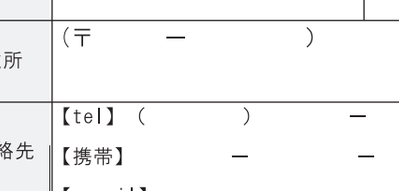
必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。
◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃（25, 000 円）上記は 2026 月 10 月 1 日現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
◆お一人部屋追加料金：120, 000 円
ホテルは基本 2 名一室です。テカポ湖のホテルは客室数に限りがありますため、最終の参加人数によっては分宿になる場合がございます。

※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。

◆任意の海外旅行保険
◆個人的費用：旅程表に明記されていないものの費用（食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等）
◆ご自宅～発着空港までの交通費
◆パスポート新規取得・更新の方は手続料：このご旅行には 2027 年 5 月 5 日以降のパスポート有効期限が必要です。（+2 週間以上の有効期限が望ましい）



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」（募集型企画旅行契約）によります。この旅行は2026年10月1日現在を基準としています。
■旅行契約の解除
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。
この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
＜取消料＞
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

＜解除時期・取消料＞

契約の解除期日	取消料
旅行開始後日の前日から起算して遡って30日目以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの
①企画手配料金および手配料金　②交通費：旅程に明示した航空運賃、　旅程に明示した専用車料金、列車料金　③宿泊費：旅程表に明示したホテル又は同等クラスのホテル（弊社基準）の基本宿泊料および税、サービス料（基本２名一室）　④食事代：旅程表明示　⑤見学施設の入場料 ⑥現地協力者の謝礼・同行費用 ⑦講師謝礼・同行費用　⑧添乗員1名同行費用　⑨視察費用
■旅行代金に含まれないもの
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
④個人的費用：　旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・　自由行動時の諸費用等
⑤航空会社が課す日本港施設使用料　・国際観光税・　海外空港税・燃油特別付加運賃25, 000円）2026月10月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。⑥お一人部屋料金：120, 000 円
⑦日本国内の交通費、前泊の費用
⑧海外旅行傷害保険料

旅行企画・実施　観光庁長官登録旅行業第84号　JATA正会員
株式会社 富士国際旅行社
●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで
〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者：西須　輝理
TEL：045-212-2101 FAX：045-212-2201
Mail：fuji@fits-tyo.com　担当：西須・山田・川村・小島
営業時間：月～金曜日／AM10:00～PM6:00
（休業日：土日・祝日）
ホームページ：http://www.fits-tyo.com/

お申込方法

①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。
予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
③ 弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円**（旅行代金内金）を
ご送金ください。（申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込）
④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。 ⑤出発2週間前に旅行説明会を行います。

き・り・と・り

株式会社　富士国際旅行社　宛

参加予約票　伊藤千尋さんと行く　ニュージーランドの旅　　2027年1月27日(水) 発

パスポートローマ字表記		性別	生年月日	年　月　日生（　）才	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名		男・女	パスポート	有効旅券（パスポート）【 有・無 】 パスポート番号： 有効期限：　年　月　日	
住所	（〒　ー　）				
連絡先	【tel】（　）　ー　【fax】（　）　ー 【携帯】　ー　ー 【e-mail】				

伊藤千尋さんと行く旅シリーズ

非核政策を学び、大自然に触れるニュージーランドの旅

旅行期間　**2027年1月27日(水)～2月4日(木) 9日間**

旅行代金　**920,000円**（成田発着）
※左記費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・日本空港施設使用料・保安料25,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

定　員　**20名様**（最低実施人員10名）　**申込締切**　**2026年11月27日(金)**

添乗員　**1名同行します**

旅のポイント

- 非核立法を制定し、核軍縮政策を進めるニュージーランド。国会の見学や、平和市民団体と交流します。
- 気候変動政策や廃棄物削減、再生可能エネルギー100％を国家として積極的に目指す政策を学びます
- 世界有数の星空観察の名所「テカポ湖」2連泊とマウントクック国立公園でゆっくりハイキング♪

伊藤　千尋 さん
（いとう ・ちひろ ジャーナリスト）

1949年山口県生まれ。東京大学法学部卒業。大学時代の71年にキューバで砂糖キビ刈り国際ボランテイアに参加。73年、東大「ジプシー」調査探検隊長として東欧を旅する。74年、朝日新聞に入社。サンパウロ支局長、バルセロナ支局長、ロサンゼルス支局長などを歴任、40年にわたり主に国際報道の分野で取材を続けた。2014年に朝日新聞退職後も、フリーのジャーナリストとして各国の取材を続け、精力的に執筆と講演を行っている。「コスタリカ平和の会」共同代表。「九条の会」世話人。東京都狛江市在住。主著に『凛とした小国』『9条を活かす日本 15%が社会を変える』『連帯の時代』など。

※写真は全てイメージです

Peace Green Humanity
旅行企画・実施　**(株)富士国際旅行社**
〒231-0062
神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4

日　程　表

日次	都　市	交通機関	行程・宿泊地・食事（朝・昼・夕）
① 1/27 (水)	東京・成田発	航空便	成田空港集合（集合予定時刻：12時30分頃） 空路、成田空港から経由地オークランドへ 【飛行時間：約10時間30分】 ニュージーランドの時差：日本側が4時間遅れてます 機中泊　朝○昼○夕○
② 1/28 (木)	オークランド着/発 ウェリントン着	航空便 専用車	朝：オークランドにて乗り継ぎ、ニュージーランドの首都ウェリントンへ 【飛行時間：約１時間10分】 午前または午後：着後、市内見学 ＊国立博物館（ニュージーランドの歴史やマオリ文化を総合的に学ぶ） ＊マーケット　など ウェリントン泊　朝○昼○夕○
③ 1/29 (金)	ウェリントン	専用車	＜非核政策や気候変動・再生可能エネルギー政策を学ぶ＞ ＊国会議事堂見学　＊市民団体と交流 ウェリントン泊　朝○昼○夕○
④ 1/30 (土)	ウェリントン発 ｸﾗｲｽﾄﾁｬｰﾁ着	航空便 専用車	早朝～午前：空路、ウェリントンからクライストチャーチへ 【飛行約1時間5分、1か月前に航空便決定します】 着後、市内見学　＊カートボード大聖堂　＊クエイクシティ ＊ボタニックガーデンの世界平和の鐘 ※平和市民団体と交流 ｸﾗｲｽﾄﾁｬｰﾁ泊　朝○昼×夕○
⑤ 1/31 (日)	ｸﾗｲｽﾄﾁｬｰﾁ発 テカポ湖着	専用車	陸路、テカポ湖へ（約3時間30分） 現地にて昼食休憩と自由散策 ～テカポは南北に30ｋｍ、最大水深は120mほど。ターコイズブルーの色は氷河の水に岩石の粒子が混ざり込みつくりだされた湖～ ※テカポ湖は星で有名ですが、天候により見えない場合がございます。テカポ湖の星空ベストシーズンは南半球の冬の期間である6月～10月です。 テカポ湖泊　朝○昼○夕○
⑥ 2/1 (月)	テカポ湖発 ﾏｳﾝﾄｸｯｸ国立公園着 ﾏｳﾝﾄｸｯｸ国立公園 テカポ湖着	専用車 徒　歩	★マウントクック国立公園ハイキング（約4時間） ＊フッカーバレー・トラック ※夕食は自由食（希望者は添乗員が案内）　テカポ湖泊　朝○昼○夕×
⑦ 2/2 (火)	テカポ湖発 ｸﾗｲｽﾄﾁｬｰﾁ着/発 オークランド着	専用車 航空便 専用車	陸路、再び、クライストチャーチへ（約3時間30分） 午後：空路、クライストチャーチ発、オークランドへ 夕方：オークランド市内見学（オークランド戦争記念博物館など） オークランド泊　朝○昼○夕○
⑧ 2/3 (水)	オークランド		終日：自由行動（視察予備日） オークランド泊　朝○昼×夕○
⑨ 2/4 (木)	オークランド発 成田空港着	航空便	早朝、空港へ。空路、帰国の途へ 成田空港17時頃帰国 朝○昼機夕×

※現地の都合により、訪問順序・日時が入れ替わる場合がございます。
●利用予定航空会社：ニュージーランド航空、ジェットスター航空、ＡＮＡ
●利用予定ホテル：ウェリントン＝Rydges Welington(2名一室)／クライストチャーチ＝Distinction Christchurch(2名一室)／テカポ湖＝Skyrim Lodge、Sky Blue Tacapo　または同等クラスのホテル
※テカポの宿はロッジタイプのため、部屋数に限りがございます。最終の参加人数によって分宿へのご案内となる場合がございます。またロッジはお食事の提供がございませんので、夕食は外食レストラン、朝食は市内のカフェあるいはテイクアウトの軽食でのご案内となりますので、予めご了承くださいませ。

ニュージーランド基本情報

・正式名称：ニュージーランド（英語: New Zealand、マオリ語: Aotearoa）
・面積：26万8107K㎡（日本の約4分の3）
・人口：521万3千人（2024年推定）　・首都：ウェリントン
・言語：公用語は英語、マオリ語　・宗教：37.3%がキリスト教（カトリック、英国国教会、長老派など）無宗教48.6%、（2018年推定）
・時差：日本より＋3 時間、サマータイム＋4時間
・気候：日本と同様に四季がありますが、南半球にあるため季節が日本と逆になります。12月～2月にかけては夏で、 日中の平均気温は 20～25°C程度です。一般的に温暖な気候で、特に北島は亜熱帯に近い温暖な気候、南島は比較的涼しい気候です。ただし、気候は予期せず急変することがあります。地元の人たちも、1日に四季がある、と言うほどです。寒暖の差が激しく、夜になると気温が一桁になることもあります。寒暖に備えて、羽織り物など上着をご準備ください。

ニュージーランドの非核政策

ニュージーランドの非核政策は、核兵器を保有せず、領土・領海への核兵器の持ち込みを禁止するものです。1987年の「ニュージーランド非核地域、軍縮、軍備管理法」によって法制化されました。この法律は、核兵器の保有、実験、貯蔵を禁止するだけでなく、核兵器を搭載した艦船や原子力推進の航空機の入港も禁じています。

＜ニュージーランドの反核を巡る主な動き＞

１９６３年 米国、ソ連、英国による大気圏内核実験を禁じる部分的核実験禁止条約（ＰＴＢＴ）が発効。フランスは加わらず
６６年 フランスが仏領ポリネシアで大気圏内核実験を開始
７３年 フランスの核実験中止を求め、オーストラリアと共に国際司法裁判所（ＩＣＪ）に提訴。放射性降下物をもたらす核実験を控えるよう促す暫定措置を引き出す
８５年 オークランド港で、核実験に抗議する環境保護団体グリーンピースの「虹の戦士」号がフランス情報機関の工作員によって爆破され、１人死亡。国連が仲裁し、８６年にフランスに対し謝罪や賠償金を命じる
８６年 アンザス条約に基づく米国の防衛義務停止▽ラロトンガ条約発効
８７年 核艦船の寄港禁止を含む反核法成立
９５年 フランスの核実験中止を求め、ＩＣＪに単独で再提訴
９６年 フランスが核実験を停止

中国新聞「ヒロシマ平和メディアセンター」（2025年6月2日掲載）より

先住民族マオリ

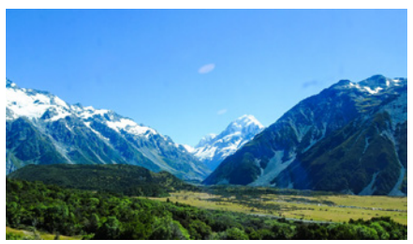
イギリス入植前からニュージーランドに住んでいた先住民族。ポリネシアン地域(南太平洋諸島)から船でニュージーランドに上陸し、現在も人口の15%を占めています。

マオリとは、マオリ語で「普通」という意味です。マオリ自身が西洋人と区別するために“普通の人間”という意味で「Tangata Maori」と呼んでいましたが、イギリス人が発音しにくいという理由で、Tangata（＝人間）ではなく、Maoriを採用したのが由来とされています。

ラグビーのナショナルゲームで有名な「ハカ」はマオリの伝統的踊りです。民族同士の戦いの前や和平を結ぶ際に誇りを示すために踊られます。マオリの挨拶は鼻と鼻をくっつけ合い「キオラ(Kia Ora)」と言い、ニュージーランドのニュースキャスターやエアーニュージーランドのフライトでもKia Oraの挨拶が使われています。

マウントクック国立公園（南島）

標高3724m、ニュージーランド最高峰がアオラキ（マウントクック）。この山を中心に3000ｍを越える19のピークと、谷間を埋める数多くの氷河によって形成されるサザンアルプス山脈はまさに“南半球のアルプス”の名にふさわしいでしょう。マウント･クック国立公園は、オセアニア地域で一番の登山地域といわれますが、ベテラン登山家でなければ登れないような険しい道ばかりでなく、湖や高山植物の咲く草原、目を見張るような氷河の眺めなどが気軽に楽しめる登山道も整備されています。今ツアーでは、その中でも1番人気のフッカー氷河湖までの日帰りハイキングをご用意。フッカー川に架かる吊り橋を渡ると、ミューラー氷河の末端とツケット氷河の荒々しい姿を前面にしたセフトン山の姿が迫ります。※第二吊り橋が工事中でしたが、2026年6月に再オープンとなりました。



クライストチャーチ

クライストチャーチは、1982年にニュージーランド初の非核都市、2002年には同国初の平和都市となりました。第一次世界大戦中の反軍国主義運動や、広島・長崎への原爆投下後に広がった反核運動など、市民による平和活動がその歴史を支えてきました。1986年には核兵器の合法性を問う世界裁判所プロジェクトが始まり、国際的な核軍縮運動にも貢献しました。現在も植物園の世界平和の鐘で原爆犠牲者の追悼行事を開催し、長崎への平和彫刻の寄贈や平和市長会議を通じた交流を続けています。市民と行政が協力し、核兵器廃絶、軍縮、非暴力、文化理解を促進する取り組みを薦めています。

＊写真は全てイメージです

旅の醍醐味 食！

ニュージーランド料理

ニュージーランド料理は、新鮮なシーフードやラム肉、そしてマオリの伝統料理「ハンギ」などが有名です。　ハンギは、地面に穴をほって底に焼け石を置き、魚やいもなどの食材を時間をかけて調理する、マオリの伝統的な料理。2000年以上の歴史があります。イギリスの植民地時代の名残から、フィッシュアンドチップスもよく食べられます。他にも、ブラフ・オイスター、クレイフィッシュ、マヌカハニー、キングサーモンなども代表的な食材としてよく知られています